

パネルディスカッションP1-2 高気圧酸素療法 (HBO) における適正な保険診療報酬に関する提言

井上 治¹⁾ 合志清隆²⁾ 久木田一朗²⁾

砂川昌秀¹⁾

- 1) 琉球大学医学部附属病院 高気圧治療部
- 2) 琉球大学医学部附属病院 救急部

救急的適応における診療報酬は、HBOにより救命救急かつ濃厚な医療を前提として高い治療費が設定されているが、軽症例や遅延例にも同じ診療報酬が支払われることは医療通念から外れる。一方、本邦における非救急的適応は、一回200点であり、HBOの治療効果を過小評価し、収益性を無視した診療報酬である。先進国の治療費にも大きな差があるが、非救急的適応ではイギリスは一回1万5千円で、定額支払制のフランスは軽症例で1万5千円である¹⁾。本邦における必要経費と人件費から適正な診療報酬を検討した。一人用(第1種)では、シクリストは高価(1500万円)で、整備費は70万円/年であるが10年に一度、シリンダ交換(700万円)を要する。4人用(第2種)では急速加圧を抑え、3ATAまでとすると本体や配管が安価となり、ベビコンで整備費を抑える。三谷

らは専任の年俸を2000万円と試算したが²⁾、試案では半日(2回)兼任の1000万円とした。本学会試案(厚労省ヒアリング)では一回に携わる人件費を術者の技術度(外保連)から換算した。三谷らはアンケート調査から救急、非救急を一本化した場合、一回2万2千円とした。われわれは、抱括医療外の一回1万円を最低基準とし、半日と一日の人件費から必要収益を分け、診療報酬を試算した。4人用では2回8人の治療で、一回1万5千円が必要であった。1人用では専任技師(一日)、医師(併任)の人件費から、2回2人の治療で1回1万5千円が必要であった。再圧療法では、時間加算により5欄が行われ易い傾向を是正し、2時間以上は30分ごとに7千円を加算すると現行の6欄に近い報酬となる。説明書を義務付けることにより回数(20回以上)、第1種における延長治療(2時間以上)などを診療報酬として認め、酸素料の抱括で酸素加圧のメリットが無くなる。

参考文献

- 1) 合志清隆, 他: 高気圧酸素治療の適応基準と治療費の国際比較. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2009; 44:205-217.
- 2) 三谷昌光, 他: 第二種使用のHBOコスト(民間病院の立場から). 日本高気圧環境医学会雑誌2005; 40:89-93.

試算者	本体 4~5人用	設備配管	整備費/年	光熱費/年	人件費/年
三谷ら	1億7800万円	3200万円	500万円	192万円	2000万円(全日)
井上ら	8000万円	1000万円	200万円	100万円(半日)	1000万円(半日)

試案	報告	機種	HBO	再圧療法	2時間以上	回数制限	酸素料
三谷ら	平17年	第2種	2万2千円	2万2千円	時間加算なし	なし	別途
学会	平23年	第2種	8万5千円	11万2千円	時間加算なし	なし	込み
		第1種	4万2千円	5万6千円	時間加算なし	なし	込み
井上ら	平23年	第2種	1万5千円	HBO+	7千円/30分	説明書/20回	込み
		第1種	1万5千円	HBO+	適応の説明書	説明書/20回	込み

収支(4人用)		運用	現・診療報酬	試算1	試算2
経費	120万円/月	20日/月	2千円/人	1万円/人	1万5千円/人
人件費	80~160万円/月	1回4人	8千円/回	4万円/回	6万円/回
必要収益	10万円/半日	2回8人/半日	1.6万円/半日	8万円/半日	12万円/半日
必要収益	14万円/日	4回16人/日	3.2万円/日	16万円/日	24万円/日
収支(1人用)		運用	現・診療報酬	試算1	試算2
経費	24万円/月	20日/月	2千円/人	1万円/人	1万5千円/人
人件費	40万円/月	1回1人	2千円/回	4万円/回	6万円/回
必要収益	3万円/半日	2回2人/半日	4千円/半日	2万円/半日	3万円/半日
必要収益	3万円/日	4回4人/日	8千円/日	4万円/日	6万円/日